

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 2 月 28 日 (2008.2.28)

【公開番号】特開 2006-202791 (P2006-202791A)

【公開日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【年通号数】公開・登録公報 2006-030

【出願番号】特願 2005-9728 (P2005-9728)

【国際特許分類】

H 0 1 L 23/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 0 1 T 1/20 (2006.01)

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

H 0 1 L 23/29 (2006.01)

H 0 1 L 23/31 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 23/00 C

A 6 1 B 6/03 3 2 0 S

A 6 1 B 6/03 3 2 0 W

G 0 1 T 1/20 G

G 0 1 T 7/00 A

H 0 1 L 23/30 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 1 月 15 日 (2008.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板と、前記基板上に搭載された I C チップと、前記 I C チップの外周を封止する樹脂と、前記 I C チップからの配線を外部に導きだすための導線と、からなる I C パッケージにおいて、

前記基板に放射線遮蔽部が備えられたことを特徴とする I C パッケージ。

【請求項 2】

前記導線に接続されたボールグリッドアレイを前記基板の表面に備えた請求項 1 に記載の I C パッケージ。

【請求項 3】

前記基板自体が放射線遮蔽材料からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の I C パッケージ。

【請求項 4】

前記樹脂に放射線遮蔽部が備えられたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 に記載の I C パッケージ。

【請求項 5】

X 線 C T 装置の X 線検出器に搭載される X 線計測回路用 I C へ請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の I C パッケージを用いたことを特徴とする X 線 C T 装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、基板と、前記基板上に搭載されたICチップと、前記ICチップの外周を封止する樹脂と、前記ICチップからの配線を外部に導きだすための導線と、からなるICパッケージにおいて、前記基板に放射線遮蔽部が備えられたものを提供する。

また、前記ICパッケージは、前記導線に接続されたボールグリッドアレイを前記基板の表面に備えたことを特徴とする。

また、前記ICパッケージは、前記基板自体が放射線遮蔽材料からなることを特徴とする。

また、前記ICパッケージは、前記樹脂に放射線遮蔽部が備えられたことを特徴とする。

さらに、X線CT装置のX線検出器に搭載されるX線計測回路用ICへ上記ICパッケージを用いたことを特徴とするX線CT装置を提供する。